



特定非営利活動法人 日本個人投資家協会 IRフェア2000TOKYO インターネット中継 / オンデマンド配信



従来ではアナリストを対象に行われ、一般個人投資家には参加の機会がほとんどなかった企業の決算説明会を、ストリーム配信により全国の個人投資家に中継。その一回目として、東京エレクトロン株式会社の決算説明会を2000年5月に行い、7月の「IRフェア2000TOKYO」の様子も、ePresenterで参加各社15分程のコンテンツを配信している。

http://www.jaii.org/



特定非営利活動法人 日本個人投資家協会 事務局長 奥 寿夫氏

Q. ウェブ上でのIR情報発信において、ストリーム配信という形態を選択された背景・経緯をお聞かせ下さい。

協会の目的の一つとして、より多くの個人投資家に、直接、企業情報を提供するというものがあります。その具体化の一環として、ウェブ上でのストリーム配信を行っています。最初は東京エレクトロンさんの決算報告会をインターネットライブ中継しました。

これまで個人投資家は、企業のトップやIR担当者や直接接する機会がゼロに等しく、常に間接的な情報しか得られていませんでした。間接的な情報というのは各媒体を通して得られますが、どれもアナリストなどの専門家を通しての情報なので、比較的似たような解釈のものとなりがちです。証券市場では、同じような情報が氾濫すると、ネットパブル、IT株の急騰などが起こる恐れもあるため、市場では情報の均一化がいちばん恐いことなんです。企業の方でも、今まではタイムリーディスクロージャー（適時なる情報開示）ということで対応していたのですが、米国のSECから情報格差をなくすようことの勧告が出され、今まではアナリスト向けだけでよかった説明会を、個人投資家にも配慮しなければいけない状況になってきていました。

そういったところで、実際に個人投資家が企業の人と対話する機会を設けることに意義があるわけです。

Q. IRコンテンツをストリーム配信することについて、具体的にどのようなメリットがあるとお考えでしょうか？

個人投資家が企業の方の話を聞く場合、いろいろな角度からその企業なり経営者を見ることになり。たとえば、経営者の人相、風体を見て、「ちょっと信用できないかな」と思うこともあるでしょう。でも、これはとても大事なことで、投資家というのは経験則からして、まず経営者を見るのが基本になっているんです。ですから、ストリーム配信を通じて、彼らの声と顔を直接、生で見られる意義は大きいと思います。個人投資家が自己の責任で判断していくことは、彼らに直接的な情報が十分得られてこそできることですからね。

Q. 東京エレクトロンさんの決算説明会中継やIRフェアのライブ中継を実施されて、視聴者や参加企業からどのような反響がありましたでしょうか？

東京エレクトロンさんのライブ中継をご覧になった方は、直接、東社長の話が聞けたということで、面白い、あるいは珍しいという反応が多かったですね。ただこれは、投資家だけでなく、大企業の場合は社員でも同じような感想をもつのではないかと思いますよ。どこか地方の支店の一営業マンも同じ感想をもつでしょうし、取引先企業もそうでしょう。トップの顔も見え、声も聞こえることで、新鮮な思いをした人は多いと思います。昔の決算説明会などは、紙の資料を配布して説明するだけでしたから。東京エレクトロンさん自身にも大変喜んでいただきました。東社長の最後のコメントでは、新しいことを人より先にやっていることの充実感が感じられました。

IRフェアのときは、ePresenterでのライブ中継でしたが、参加企業すべてが立派なプレゼンテーションをしていただけました。実際、視聴者からは、PowerPointスライドとの連動で楽しく見られるのがいい、という反応が多かったです。あまり長丁場の中継では、見ている人も疲れてしまいますから、IRフェアではいかに楽しく見てもらうかを考えて、早いテンポと充実した内容をお掛けしました。コンテンツは15分きざみで、私たち自身も休憩もとらずにビデオ撮りして飛ばし回ってましたよ。それもこれも、ePresenterを使った放送を、個人投資家の皆さんに、楽しく見てもらいたかったからです。

Q. インターネット上でのIR情報発信について今後の取り組みなどをお聞かせ下さい。

インターネットライブ中継では今後双方向での質疑応答も考えていますし、ストリーム配信以外にも掲示板やチャットなどを既に行いつつあります。将来的には、情報を提供する企業に通信コストを負担してもらい、広く一般の個人投資家の方に無料でいつでもインターネットからIR情報が見られるようにしたいと考えています。我々は会員組織ですから、会費は徴収しますが、インターネットで情報を流してそれに課金しようというところは、まったく考えていません。

企業は、投資家や消費者に責任を持たなければいけません。それは決算報告だけでなく、常に情報を伝えていくというのは、企業としてやらなければいけない大きな仕事です。そういったところで、情報を常に伝えるための媒体としてインターネットは最適ですし、IR情報を含めた企業情報のストリーム配信のニーズもあると思います。個人投資家や消費者にとっても、その企業の情報を無料でインターネットから得ることができるというのは良いことだと思います。

個人投資家の皆様には、「もっと賢く、自分に合った、自分の満足できる投資をしろ」と勧めたいですね。さらに企業に対しては、「もう少し株主に対して親切に」と言いたいです。親切にする方法はインターネット中継などいろいろあるのですが、実際には、まだまだこれからという企業が多いというのが現状です。

